

ニュースレター-28号【防災学術連携体】2020/5/20

新型コロナウイルスの感染について予断を許さない状況が続いています。本格的な雨季を迎える前に、災害時の心構えを、防災学術連携体からの緊急メッセージ「感染症と自然災害の複合災害に備えて下さい」として5月1日に市民の皆様にお伝えしました。防災学術連携体の活動を支えていただいている幹事学会は、4月から、主担当学会が日本建築学会から日本災害医学会に、副担当学会が日本災害医学会から日本都市計画学会に変わりました。この2年間、防災学術連携体の活動と運営にご尽力いただいた日本建築学会と日本災害医学会に感謝申し上げますとともに、これから2年間、お世話になります日本災害医学会と日本都市計画学会にはご支援の程よろしくお願い申し上げます。

防災学術連携体 代表幹事 米田雅子（慶應義塾大学特任教授、日本学術会議会員）
代表幹事 古谷誠章（早稲田大学教授、日本建築学会前会長）

1) 主担当学会と副担当学会 交代

- ・土木学会（主）および日本建築学会（副）2016年1月から2018年3月
- ・日本建築学会（主）および日本災害医学会（副）2018年4月から2020年3月
- ・日本災害医学会（主）および日本都市計画学会（副）2020年4月から2022年3月

* 防災学術連携体の活動を支えていただいている主担当学会と副担当学会は、2年ごとに交代しております。

2) 市民への緊急メッセージ「感染症と自然災害の複合災害に備えて下さい」

日時：2020年5月1日（金） 10：00 発信元：防災学術連携体 幹事会

https://janet-dr.com/070_seimei/071_seimei200501.html 動画(字幕あり)：<https://youtu.be/98SVefsGMdY>

新型コロナウイルスの感染について予断を許さない状況が続いている中、この感染症への対策を進めつつ、自然災害の発生による複合災害にも警戒が必要となることに鑑み、本格的な雨季を迎える前に、災害時の心構えを、緊急メッセージとして市民の皆様へ伝えるべく、防災学術連携体の幹事名で市民への緊急メッセージを5月1日に発信しました。その後、NHKやテレビ朝日による放映を始め、Japan Timesやその他多くのメディアにとりあげられ、タイミング良くスムーズに、わかりやすい内容の緊急メッセージが発信されたとの評価を受けています。



画面右下、設定ボタンをクリック



字幕を選択



日本語を選択



字幕が表示されます。
* 内容は HP に掲載されたものと同じです。

3) 防災学術連携シンポジウム「低頻度巨大災害を考える」が開催されました

主催：日本学術会議 防災減災学術連携委員会、土木工学・建築学委員会低頻度巨大災害分科会、防災学術連携体（58 学会）

日時：令和2年3月18日（水）12：30～18：00

場所：日本学術会議 インターネット中継



https://janet-dr.com/060_event/20200317.html

動画(字幕なし)：

<https://www.youtube.com/playlist?list=PLIC1hpXv6lEn1mLSHfpjoTcENjEEyYiyC>

*シンポジウムは、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、インターネット中継での開催でした。発表会場の日本学術会議には講演者・主催関係者、および報道関係者のみが参集しました。

4) 第5回防災推進国民大会において、第10回防災学術連携シンポジウム・日本学術会議公開シンポジウムを開催します

主催：日本学術会議 防災減災学術連携委員会・防災学術連携体（58 学会） 日時：2020年10月3日、4日

会場：広島国際会議場及び屋外展示スペース

公式 HP：<http://bosai-kokutai.jp/>

テーマ：あなたのまちの安全と防災の備えを知ろうー学術界からの発信ー（仮案）

本セッションでは、都市や市街地の成立過程を踏まえて、そこに潜む多様な危険性を各分野の専門家が指摘し、それらに対する備えについて発信する予定です。一般の方々に、防災に向けた「自助」、「共助」、「公助」を考える上で基本となる、私たちの生活を取り巻く土地の成立ち、風土、環境に対する意識を高めていただきたいと思います。

5) 日本学術会議主催学術フォーラム・第11回防災学術連携シンポジウム

「東日本大震災からの十年とこれから」～58学会、防災学術連携体の活動～

主催：日本学術会議 防災減災学術連携委員会 防災学術連携体（58 学会）

日時：令和3年1月7日（木）または14日（木）10時から17時

場所：東京医科歯科大学 鈴木章夫記念講堂、または建築会館ホール

2011年東日本大震災の甚大な被害から十年が過ぎます。東日本大震災以降も日本の各地で多くの自然災害が発生しました。これらの災害について、多くの学会は調査研究、記録、提言、支援などを続けてきました。大震災後十年を迎えるにあたり、防災学術連携体の各構成学会と防災減災学術連携委員会の委員が、これまでの活動を振り返るとともに、今後の取り組みについて発表します。なお、同時に、東日本大震災十周年「防災学術連携体58学会の記録」の冊子を作成し、参加者及び関係各所に配布する予定です。

- ★ 防災学術連携体のホームページ (<https://janet-dr.com/>) を市民と学会の交流、学会間と日本学術会議の交流・連携活動などに活用してください。
- ★ ニュースレターのバックナンバーは https://janet-dr.com/000_home/001_maga.html よりご覧いただけます。
- ★ お問い合わせは防災学術連携体事務局 website@janet-dr.com までお願いいたします。

★ 情報は一次情報を「自分で見て」行動しましょう

[厚生労働省](#) [首相官邸](#) [日本医師会](#) [日本獣医師会](#)



防災学術連携体幹事・事務局長 田村和夫（日本学術会議連携会員）
小野寺篤（日本建築学会 事務局長代理）

防災学術連携体事務局 website@janet-dr.com
担当：麓 絵理子（フモト エリコ）、小野口弘美（オノグチ ヒロミ）
・ニュースレターの配信依頼、配信解除もここにご連絡下さい

防災学術連携体は、日本学術会議協力学術研究団体に加盟申請をしました。